

閉ざされた言論空間

2008/09/19 22:29

つい最近、阿比留さんのブログでこんなコメントをする人が現れました。

>心ならずも先の戦争に駆り出された戦死者

これは日本国民も徴兵された兵隊さんも、被害者だ。悪いのは軍でありその指導者だ。こういう人に限って国際法を無視した無差別爆撃、広島・長崎の原爆投下をした米軍は非難しないのです。

そうです。未だにいわゆる東京裁判史観、別名「自虐史観」に侵されている気の毒な人たちです。多いんですよね～。ではどうしてこのような「自虐史観」が戦後60年以上も経過した現在でも幅をきかせているのでしょうか？。

そのキーワードはWGIP(ウオー・ギルド・インフォメーション・プログラム)というGHQが徹底して繰り広げた「戦争についての罪悪感を日本人の心に植えつけるための宣伝計画」によるところが大きいのです。それを報道と教育を支配した左翼がいまでも後生大事に拡散し続けているからなのです。

以下に江藤純著・閉ざされた言論空間(文春文庫、P270-P271)の一部を紹介しします(ちょっと長いです)。ご存じの方は飛ばして下さい、知らなかった方、是非購入してご覧下さい。これを精読しても認識は変わらないという貴方、もう救いようがありません。一生「日本が悪かった」と思いながら自らの余生を過ごして下さい。

本当は悪いのは日本ではなく、「世界を植民地化していた白人欧米列強だった」と云うことに気づいて下さい。日本は勇敢に戦って結果は負けたけど、白人の植民地主義と人種差別から世界を解放した動きに火をつけたのです。何ら恥じることはないのです。



それは、とりもなおさず、「ウオー・ギルド・インフォメーション・プログラム」の浸透であった。『太平洋戦争史』は、まさにその「プログラム」の嚆矢として作成された文書にほかならないからである。

歴史記述をよそおってはいいるが、これが宣伝文書以外のなにものでもないことは、前掲の前書を一読しただけでも明らかだといわなければならない。

そこにはまず、「日本の軍国主義者」と「国民」とを対立させようという意図が潜められ、この対立を仮構することによって、実際には日本と連合国、特に日本と米国とのあいだの戦いであった大戦を、現実には存在しなかった「軍国主義者」と「国民」とのあいだの戦いにすり替えようとする底意が秘められている。

これは、いうまでもなく、戦争の内化化、あるいは革命化にほかならない。

「軍国主義者」と「国民」の対立という架空の図式を導入することによって、「国民」に対する「罪」を犯したのも「現在および将来の日本の苦難と窮乏」も、すべて「軍国主義者」の責任であって、**米国**には何らの責任もないという論理が成立可能になる。

大都市の無差別爆撃も、広島・長崎への原爆投下も、「軍国主義者」が悪かったから起った災厄であって、実際に爆弾を落した**米国人**には少しも悪いところはない、ということになるのである。

そして、もしこの架空の対立の図式を、現実と錯覚し、あるいは何らかの理由で錯覚したふりをする日本人が出現すれば、CI&Eの「**ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム**」は、一応所期の目的を達成したといってよい。

つまり、そのとき、**日本における伝統的秩序破壊のための、永久革命の図式が成立**する。

以後日本人が大戦のために傾注した夥しいエネルギーは、二度と再び**米国**に向けられることなく、もっぱら「軍国主義者」と旧秩序の破壊に向けられるにちがいないから。

CI&Eが、このような対立の図式を仮構するに当って、どの程度マルクス主義的思考の影響を受けていたかは、さだかではない。

しかし、「これらのうち何といっても彼らの非道なる行為の中で最も重大な結果をもたらしたものは真実の隠蔽であらう」という、前書の一節が、グロテスクな響きを発せざるを得ないのは、この宣伝文書が、戦争とは国家間の争いにほかならないという自明な「真実」を「隠蔽」したまま、いわゆる「真相」の暴露に終始しているためというほかない。

しかも、この宣伝文書が発表されたとき、日本の言語空間は、すでにその存在を秘匿し、「隠蔽」していたCCDの検閲によって、ほぼ完璧に近いかたちで閉ざされ、監視されていたのである。

カテゴリ: [コラム](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(13\)](#)

タグ: [WGIP](#) [検閲](#) [GHQ](#) [自虐史観](#)

コメント(13)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)

2008/09/19 23:23



Commented by **RAM** さん

hanausagi様、こんばんは。

あそこで、言いたいことはかなり述べましたので、重複しない範囲で。

帝国議会衆議院の選挙方法は、当時の世界レベルで、例えば「民主主義の先生」であるはずの**アメリカ**と較べても、何ら劣らぬレベルのものでした。「一定額を納税した男子」というのは、ほとんどの国がそうであり、**アメリカ**などは、戦後に至るまで、人種による選挙権差別が続いていたほどです。

その様な選挙で選ばれた議員というのは、これは国民全体の代表と見なすべきです。

その議員は、当然ながら、必要とあれば、内閣を倒す力も持っていましたね。

しかし、それをせず、大政翼賛体制を作ったと言うことは、これも理屈から考えれば、

当時の国民の多くが、それを望んだと言うことが、当たり前で導かれます。

つまり、軍部が戦争を望んだのではなく、国民が望んだ結果であると言うことは、

簡単に証明できるのです。

「全体主義だった」という人も居ますが、民主主義かにおいても、皆が同じ事を望めば、離れた場所・時の者から見れば「全体主義」と何も変わりません。

戦前の動きは、あの当時の「民主主義」の結果、であったのですね。

故に、指導者の、戦争経営の上手下手についての評価は別として

(下手だったのは否定できませんが)

戦争へ突入したこと自体の責を問うのは、大きな間違いなのです。

戦後言われた「一億総懺悔」を、本当には誰もしてせずに、

総ての責任を一部になすりつけることで、自分は贖罪しようとする、

卑怯な考え方です。

本当に、戦争がいけないと思うのなら、
その様にさせた一億国民全体が悪かったのであり、
戦争の被害がいけないというのなら、
敵国である米国が悪いのです。(この場合、加害はどうなる?と言うのが残りますが)
WGIPは、自責がづらい人間心理を非常に上手く利用しています。
軍部や指導層に文句を言う連中、上に書いたことに反論できるのでしょうか?

2008/09/20 00:25



Commented by **mochizuki** さん
To hanausagiさん

2008/09/20 06:46

“WGIP(War Guilt Information Program=戦争犯罪識見学習計画?)”なんて、へんてこりんな用語を造らなくたって、“戦争は犯罪/非行である”という識見・知識は、大昔に孫子(呉の孫武)が、「百戦して百勝するは善の善なる者に非ず戦わずして人の兵を屈するは善の善なる者なり」って、勝っても負けても戦争は悪、すなわち、犯罪/非行なのだが、「兵は勝つを貴ぶ 久しきを貴ばず」っていう「条理(物事の筋道・道理)」を説いていますよ。

孫氏の条理に照らして考えれば、兵士・国民を飢え死にさせて、形無しの負けを喫した上に、「バター犬症候群(battered dog's syndrome — 叩くなどの制裁により良く躰けられた犬が、飼い主以外の侵入に対しては確実に反抗して良く吠えるが、飼い主からの障害・妨害に対しては制裁を恐れて従順になるというよう現象が、同時に起こる一群の肉体的・精神的な異常)」を患うのは、最も罪が深いくらいのことは、分るだろう、花うさぎさんの世界は腹黒の「条理」が罷り通るとしても…。



Commented by **花うさぎ** さん
To RAMさん

おはようございます。

>戦前の動きは、あの当時の「民主主義」の結果、であったのですね。

ご意見に同意します。でもこれをいう左翼はもちろんですが保守論壇も意外と少ないですね。

>総ての責任を一部になすりつけることで、自分は贖罪しようとする、
>卑怯な考え方です。

赤く染まった人たちの共通のキーワードは「卑怯者」ですね。「正々堂々」とは対極の人たちです。

>軍部や指導層に文句を言う連中、上に書いたことに反論できるのでしょうか?

出来るとしたら論点ずらし、言い逃れ、の類でしょう。RAMさんのご意見が正論だと思います(^^)。



Commented by **ばんたか** さん
お早うございます。

2008/09/20 06:48

ご紹介有り難うございます。
具体的なことを、もっと知りたいと思っていました。

早速、本屋さんに頼みます。

昨日、頼んでおいた『氷川清話』(講談社学術文庫)が届いて、前書きと解題を読み始めたところです。

で、何気なく表紙を見たら編者が江藤淳・松浦玲とありました。
偶然ですが。



Commented by **花うさぎ** さん
To mochizukiさん

2008/09/20 06:56

あのね、何回も云うけど、いつまで言語不明瞭意味不明の長文を書くの?。やる気が萎えちゃうのよ、それだけで。

2008/09/20 07:18

>勝っても負けても戦争は悪、すなわち、犯罪／非行なのだが

先の大東亜戦争当時、戦争は犯罪などという考え方は先進諸国にはなかったの。当時は「戦争は外交の最終的な手段」というのが常識だったの。



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [ぱんたか](#)さん

お早うございます。

>昨日、頼んでおいた『氷川清話』(講談社学術文庫)が届いて、前書きと解題を読み始めたところです。

お、勝海舟ですか。NHKあつ姫でも登場しましたね。

>で、何気なく表紙を見たら編者が江藤淳・松浦玲とありました。

云われてみると…(^^);。読后感など教えてくれれば幸いです。



Commented by [zukin](#) さん

エラそうな講釈をたれるわりには未だに戦後"レジューム"って言っている人がいますね。Regimeがどうやったらレジュームと読めるんだか。

2008/09/20 11:26

hanausagi様、大変失礼しました。もし該当コメントを削除されるのでしたら、これもどうぞ削除なさってください。



Commented by [zukin](#) さん

hanausagi様

再度失礼します。

2008/09/20 11:40

小泉氏の「心ならずも」という発言については([スピーチライター](#)は別にいるのでしょうが)、小野田寛郎氏も「許せない」とおっしゃっていますよね。

ところで先日、チャンネル桜の友の会から二千人委員会に切り替えることにしました。こんなことで1週間も逡巡した自分が情けなくもありますが…なんとか放送を続けて欲しいです。



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [mochizuki](#)さん

ハイ、却下ね(^^)。

2008/09/20 12:13



Commented by [花うさぎ](#) さん

To [zukin](#)さん

>小泉氏の「心ならずも」という発言については([スピーチライター](#)は別にいるのでしょうが)、小野田寛郎氏も「許せない」とおっしゃっていますよね。

あれは左利きの官僚の作文でしょう。小泉氏は自分ではチェックしてないと思いますよ。阿比留さんも度々指摘していますが、小泉氏は[郵政民営化](#)や靖国では我を通しましたが、考え方も保守かという違いますね。

>ところで先日、チャンネル桜の友の会から二千人委員会に切り替えることにしました。

おっ、凄い！。感謝です。16日に中間報告がありましたが、次は25-26日頃ですかね？。推移を心配してます。



Commented by [zukin](#) さん

hanausagi様

レスありがとうございます。[たまたま](#)別件で『正論』2006年9月号を入手したら阿比留さんの「節だけは曲げなかった小泉首相の5年間」というものも載っていてうれしくなりました。

2008/09/20 12:50

ところで、いちおう私に宛てたらしきへんな作文もあったようですが、削除して下さりありがとうございます。助かりました。



Commented by **第一義@運国斎** さん
hanausagi様

2008/09/20 20:19

こちらでは初めましての憂国者です。

本当にWGIPに対しては憎悪の一言ですね。

それにしても餅好きだか望月だかが食って掛かっていますがそもそもWGIPとは war guilt information programの頭文字を並べただけで、WGIPと名付けたのは米国でG HQで、(その中にはユダヤ人が多かった)hanausagiさんの命名でもないのに長ったらしいとか難癖を付けるのは見苦しい。

既に此の国に自由な言論空間は無い。強いて言えばネットがそれだったが、それさえ規制の波が近づいてるように思えます。



Commented by **花うさぎ** さん
To yuukokushaさん

2008/09/20 20:58

ようこそ。

>それにしても餅好きだか望月だかが食って掛かっています

彼はこの世界では超の突く有名人なんですよ。何せ阿比留さんにわざわざ彼のエントリーを立てられた輝く第一号ですから。

>既に此の国に自由な言論空間は無い。強いて言えばネットがそれだったが、それさえ規制の波が近づいてるように思えます。

このネット言論に一番危機感を感じているのが左翼マスコミでしょう。この二、三年のブログ等の爆発的普及で、朝日や毎日の主張がおかしいということに多くの人が気づき始めたのですから。

人気の政治ランキングをみても、トップから20位までをみていて、左翼系など2つか3つ、あとはほとんど保守系でしょう。中には瀬戸さんみたいに行動するグループも台頭してきた。

必ずネット規制を仕掛けてくると思います。その時は皆で協力して抗議集会、街宣、デモをやらねば(^ ^)。